

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	耳下腺全摘顔面神経合併切除後における再建方法の検討	
1. 研究の目的と方法	<p>【研究の目的】</p> <p>この研究では、耳下腺（じかせん）にできた悪性腫瘍（がん）の治療として、顔の表情を動かす神経（顔面神経）を切除しながら耳下腺をすべて取り除く手術を行った後、どのような方法で体を再建するのが最も良いかを調べます。</p> <p>具体的には、以下の2つの観点から比較します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 組織の補填方法：自分の脂肪を移植する方法（真皮脂肪移植）と、血管ごと組織を移植する方法（血管柄付き遊離皮弁）のどちらが適しているか・ 神経の修復方法：神経をそのままつなぐ方法（神経移植）と、血管付きの神経をつなぐ方法（血管柄付き神経移植）のどちらが顔面神経の回復が早い <p>比較する項目は、手術後に移植した組織の量の変化・手術にかかった時間・顔面神経の回復具合・術後の合併症の有無などです。</p> <p>【研究の方法】</p> <p>東京慈恵会医科大学附属病院の形成外科において、2016年1月1日から2024年12月31日の間に上記いずれかの治療を受けた患者さんを対象とし、カルテ（診療記録）から必要なデータを収集して比較・検討します。</p> <p>移植した組織の量の変化については、CT検査のデータをもとに、専用の医療画像解析ソフト「VINGENT（富士フイルム社製）」を使って体積を計測・分析します。</p> <p>【研究への参加について】</p> <p>この研究は過去の診療記録を使用するため、患者さん一人ひとりから直接同意を得ることが難しい状況です。そのため、研究の内容をホームページ上で公開し、参加を希望しない方が申し出られる機会を設けます。</p>	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2031年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	(1) 2016年1月1日から2024年12月31日までの間に東京慈恵会医科大学附属病院で、耳下腺の腫瘍に対して耳下腺全摘および再建術を受けた方で、真皮脂肪移植および血管柄付き遊離皮弁、または、神経移植および血管柄付き神経移植のいずれかの治療法を実施した方 (2) 20歳以上の成人の者	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	・ 研究対象者の基本情報：生年月、性別、既往歴、薬剤歴 ・ 疾患情報：疾患名、手術名、手術内容、術後の追加治療内容、顔面神経麻痺スコア

		<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査結果：腎機能、血糖値、HbA1c ・画像検査所見：CT、顔写真 	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	額見 理生
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年4月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 研究責任者：助教 額見 理生（ぬかみ まさき） 電話番号：03-3433-1111(代表)（内線 3481） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。